

SONY®

オーディオコンポーネント総合カタログ SONY HIGH GRADE COMPONENT "ES" SERIES.

ES

1984・10月現在



音質で語りたい。機能で語りたい。そして、すべてを音楽のために捧げたい。ソニー"ES"シリーズ。



It's a Sony ソニー商品のシンボルマークです



人がいる。声がある。楽器がある。それが音楽になり、感動となる。

そしていま、時代はアナログからデジタルへ。AUDIO & VIDEOへ。

音楽は、より深い感動と、限りないイメージの広がりを求めて流れを変えようとしています。

ソニーES[®]シリーズ。

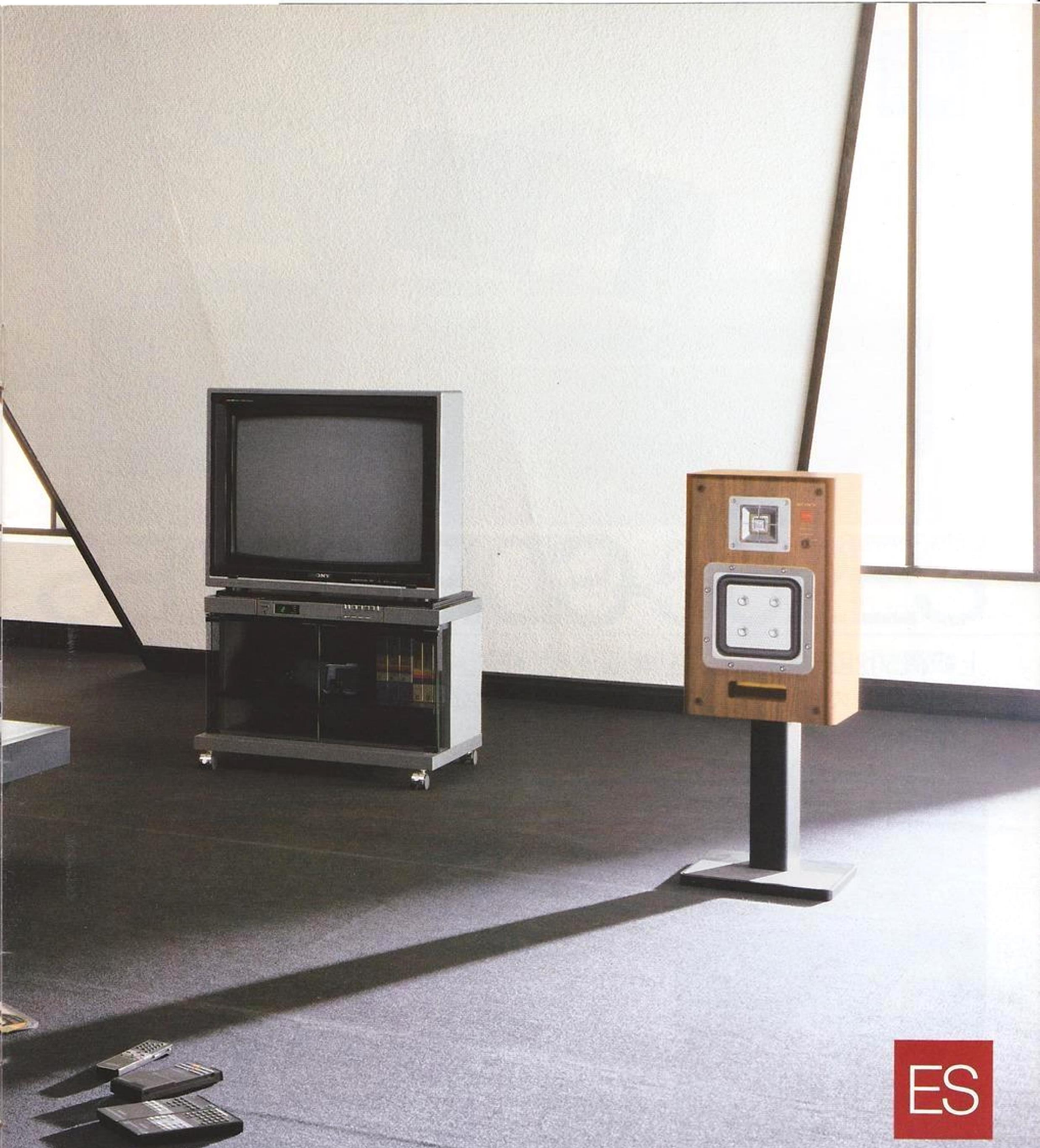
こうしたプログラムソースのハイクオリティ化、多様化に真正面から対応し、

音質・機能をあらゆるアングルから徹底的に追求。

まさにひとつ、ひとつが新しい時代のリファレンスと呼ぶのにふさわしい高度な基本性能を持ったコンポーネントラインアップです。

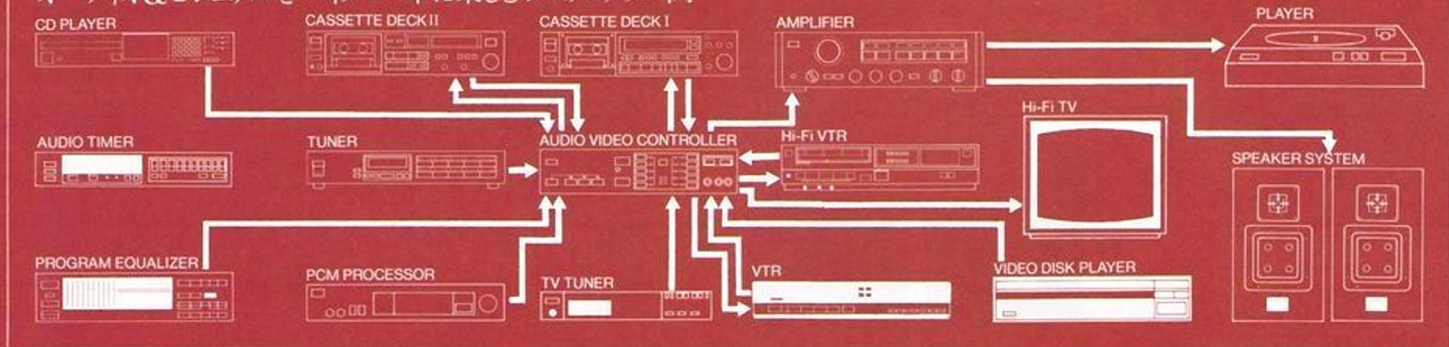
これからますます深遠になる人とオーディオとのふれあいに、いつまでも色あせぬ普遍の価値を。

どこまでも音楽に誠実でありたい——。



ES

オーディオ&ビジュアルをハイグレードに楽しむシステムアップ例





CD PLAYER

CDP-302ES

上級機502ESの設計思想を継承。音質、機能、そしてコストパフォーマンスのウェルバランスを高次元で追求した“ES”シリーズの新しい中核モデル。

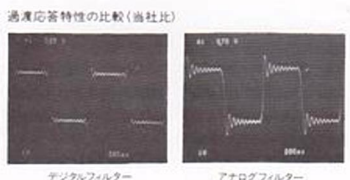
CDP-302ESは、上級機CDP-502ESの設計思想を可能な限り継承。音質面では、周波数特性2Hz~20kHz±0.3dB、ダイナミックレンジ96dB、ひずみ率0.003%をクリアし、音の純度を大きく高めました。また、機能面でも、最大16曲のRMS機能や20キーによるワンタッチ選曲もできるワイヤレスリモコンも付属と充実した内容です。

ソニー最新の半導体技術を駆使したユニニア・コンバーターシステム。デジタル・オーディオ機器の心臓部ともいえるD/Aコンバーター、デジタルフィルター、EFMディ・モジュレーターをマスタークロックにより同期運転するシステムです。これにより、2系統以上のクロックの干渉によるビート発生が原理的になく、デジタル系がアナログ系に及ぼす影響を排除。アナログ回路の設計の自由度を高め、高音質を実現しました。デジタルならではの音の純度を守る新開発デジタルフィルター。



素晴らしい操作性を生み出すハイスピード・リニアモーターラッキングメカニズム。CDプレーヤー用の新開発リニアモーターを光学ブロックに一体化した理想的なラッキング方式です。動作は極めて静粛かつスムーズで、ディスクの1曲目から最終曲の頭出しまでの選曲時間が1秒という高速アクセスを可能にしました。また、ギヤなどの変換機構がない駆動系と光学系の一体構造により、信頼性・耐久性も大きく向上。さらに、メカブロック全体をフローティング構造として、外部ショックの影響も極力抑えました。

デジタルフィルターは、デジタル信号をオーバーサンプリングして、高域の不要成分と音楽信号の周波数的な距離を拡大、D/A変換後のローパスフィルターの通過帯域を広げ減衰特性をなだらかにでき、良好な位相特性が得られます。新開発のデジタルフィルターは、オーディオ帯域でのリップル特性を1桁以上も改善し、かつ80dBもの減衰量を獲得。位相特性、ひずみ特性ともによくなり、より忠実度の高い再生を可能にしました。



ディスク収録曲を好きな曲順にランダムに入れ替えて楽しめる最大16曲のRMS (ランダム・ミュージック・センサー)機能。最大16曲まで聴きたい順序でメモリーして連続演奏できるRMS機能を装備。ディスクの収録曲を好きな順序に自由に入れ替えて楽しめます。しかも、プログラムホールド機能により、1度RMSメモリーすると、他の曲を聴いていても再びRMS動作に戻すことが可能です。

独自の20キー方式でワンタッチ・ダイレクト選曲もできるワイヤレスリモコン標準装備。付属のリモコンユニットRM-D302により、通常の演奏操作に加え、インデックスサーチやリピート操作までもリスニングポジションから行えます。しかも選曲は、ソニー独自の20キー方式により希望曲のトラックNo.をダイレクトに指定するだけ。ほとんどのディスクの収録曲は20曲以内ですから、まさにワンタッチです。また、桁上げキーにより収録曲が20曲を超えるディスクにも対応します。

●ディスクに記録されたインデックスNo.*で指定して、聴きたい楽節や歌詞部をダイレクトに呼び出せるインデックスサーチ機能。
*インデックスNo.が記録されているコンパクト・ディスクは、付属の解説書に明記されています。

- 聴きたい曲の頭出しが素早くできるAMS (オートマチック・ミュージック・センサー)機能。
- 1(曲)/ALL(全曲)/A↔B(部分)/RMSのくり返し演奏が可能なリピートプレイ。
- 曲の内容を聴きながら早送り、早戻しができるミュージックサーチ(マニュアルサーチ)機能。
- 演奏経過時間/残り時間、トラックNo.やインデックスNo.など演奏状態をひと目で確認できる集中ディスプレイ。ディスクセット時には全曲数と全演奏時間も表示します。
- メカ部とアンプ部を分離した高剛性シャーシ採用。さらに、アンプ部をLRツインモノ構成とした音質重視設計のアナログ回路。
- デジタル部、アナログ部を分離した士安定化電源、Z材コア大型電源トランスなどの採用による音質重視の強力な電源回路。
- 新開発オーディオ専用広帯域オペアンプ採用 ●再生音を忠実に伝送するLC-OFC線材を信号系に使用 ●動作スピードをさらに早め、ディスクを押しも閉じるブッシュローディングのリニアスケイティング方式 ●出力可変ヘッドホン端子 ●ソニーの「ザ・セッション」などのシステムリモコンに対応するSIRCS端子 ●シンクロ端子付デッキ(TC-W7Rなど)とのシンクロプレイが可能。

コンパクト・ディスクプレーヤー (ワイヤレスリモコンRM-D302付属)
CDP-302ES ¥118,000(新製品)
主な仕様 ●型式:コンパクト・ディスク・デジタルオーディオシステム ●読取り方式:非接触光学読取り(半導体レーザー使用) ●レーザー:GaAlAsダブルヘテロダイオード ●回転数:約500~200rpm(CLV) ●演奏速度:1.2m/s ~1.4m/s(一定) ●エラー訂正方式:ソニースーパーバスターラジエーション(クロスインターリーブ・リードソロモンコード) ●チャンネル数:2チャンネル ●復号化:16ビット直線 ●周波数特性:2Hz~20kHz±0.3dB ●高調波ひずみ率:0.003%(1kHz) ●ダイナミックレンジ:96dB以上 ●フワ・フラッター:測定限界以下 ●出力レベル:2Vrms(MSB) ●ヘッドホン出力レベル:28mW(32Ω)(MSB) ●大きさ:430(幅)×80(高さ)×335(奥行)mm ●重さ:1.67kg ●消費電力:12W



CD PLAYER

CDP-502ES

デジタルならではの音の純度を守り抜く音質最優先設計。そして、素晴らしい操作性で、これからのCDプレーヤーの方向性を示唆する新世代のリファレンス機。

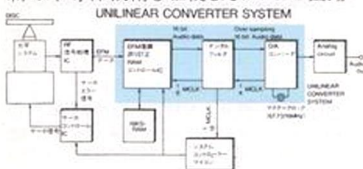
ソニー先鋭の半導体技術とオーディオ技術を結集したCDP-502ES。周波数特性2Hz~20kHz±0.3dB、ダイナミックレンジ96dB、ひずみ率0.0025%をクリアし、「新世代のリファレンス」にふさわしい至純のサウンドクオリティを獲得しています。また、その多彩な機能、快適な操作性も、CDプレーヤーの新しい方向性を指標するものです。

高速アクセスを可能にしたハイスピード・リニアモータートラッキングメカニズム。

CDプレーヤー用の新開発リニアモーターを光学ブロックに一体化。ギヤノイズがなく極めて静粛かつスムーズな動作で、ディスクの1曲目から最終曲の頭出しまでの選曲時間が1秒という高速アクセスを可能にしました。

新開発デジタルフィルター搭載のユニニア・コンバーターシステム。

これは、すべてのデジタル信号処理を1種類のクロックに完全同期させて行うシステム。2系統以上のクロックの干渉によるビート発生が原理的にありません。また、フィルターに、位相特性、ひずみ特性ともにごく優れた新開発デジタルフィルターを搭載。このソニー最新の半導体技術を駆使したデジタル回路



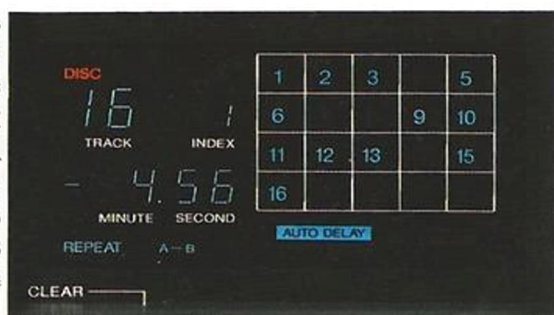
が、音の純度を大きく高めています。
回路構成、構造、パーツすべての面から音質最優先の姿勢を貫いたアナログ部。メカ部、デジタル部、アナログ部を完全分離。さらに、オーディオ回路は全段LRツインモノ構成としてチャンネル間の干渉を断ちました。また、音楽信号に影響を及ぼすことなく不要帯域をカットできるGIC型ローパスフィルターや、剛体構造の銅メッキ・シャーシの採用などで音質劣化の要因を丹念に除去。加えて、出力アンプ部に新開発の高音質オペアンプ、オーディオ信号系の線材にLC-OFC、セラファイン電解コンデンサーなどの厳選パーツを大量投入しています。
各部独立の贅沢な強力電源回路。電源回路は、デジタル部、アナログ部、サーボ系、ディスプレイ部それぞれ独立。しかも、アナログ部に十二分な余裕をもつディスクリート高速安定化電源を配した贅沢な構成。さらに、OFC巻線のZ材コア大型電源トランス、大容量電解コンデンサーなどの採用で音楽信号に対する応答性を大きく高めました。
演奏の進行状態がひと目で確認できる新しい表示機能。ミュージックカレンダー。ディスク収録曲のトラックNo.を最大20曲までダイレクト表示。演奏終了曲のNo.は随時消え、演奏の進行状態がひと目でわかります。また、RMS時にはプログラム曲のNo.のみを表示。曲順もチェックキーを押すだけで確認できます。
演奏中にプログラムの追加・変更もできる最大20曲のRMS(ランダム・ミュージック・センサー)機能。

20キー方式によるワンタッチ選曲で、最大20曲まで好きな順序でメモリー演奏できます。しかも、プログラムの追加、変更が演奏中でも可能。さらに、RMS予約はリモコン操作でも行えます。

20キーによるワンタッチ・ダイレクト選曲。選曲は、ソニー独自の20キー方式。ほとんどのディスクの収録曲は20曲以内ですから、まさにワンタッチで選曲できます。しかも、桁上げキーの装備で、収録曲が20曲を越えるディスクにも対応します。
フレキシブルな時間表示機能。ディスクセット時はトータルの演奏時間を、演奏スタート後は1曲ごとの経過時間を表示。さらに、演奏中の曲の残量、プレイモード(PROGRAM/SINGLE/CONTINUE)ごとの総残量も切替表示。RMS予約時は、プログラムの総演奏時間を表示します。
●20キーによるRMS予約、ラインアウトやヘッドホンの音量調節も可能なワイヤレスリモコンRM-D502付属。

CDP-502ES ¥150,000 (11月21日発売)

主な仕様 ● 型式:コンパクト・ディスク・デジタルオーディオシステム ● 読取り方式:非接触光学読取り(半導体レーザー使用) ● レーザー:GaAlAsダブルヘテロダイオード ● 回転数:約500~200rpm(CL) ● 演奏速度:1.2m/s~1.4m/s(一定) ● エラー訂正方式:ソニースーパーラテジー(クロスインターリーブ・リードソロモコード) ● チャンネル数:2チャンネル ● 復号化:16ビット直線 ● 周波数特性:2Hz~20kHz±0.3dB ● 高調波ひずみ率:0.0025%(1kHz) ● ダイナミックレンジ:96dB以上 ● ワウフラッター:測定限界以下 ● 出力レベル:2Vrms(MSB) ● ヘッドホン出力レベル:28mW(32Ω)(MSB) ● 大きさ:430(幅)×80(高さ)×335(奥行)mm ● 重量:8.5kg ● 消費電力:16W



● コンピュータが再生のたびごとに収録曲の曲順をランダムに入れ替えて演奏するBGM派に最適なシャッフルプレイ機能。
● 1/ALL/A↔B/RMS/シャッフルプレイの多彩なリピートプレイ。
● インデックスサーチ機能 ● AMS機能 ● ミュージックサーチ(マニュアルサーチ)機能 ● プログラム演奏およびシャッフルプレイ時の曲間を自動的に3秒に設定するオートスペースプレイ機能 ● ダイレクト選曲時、演奏スタートまで自動的に2秒間のブランクをつくるオートテイル機能 ● ディスクテーブルを押しても閉じるプッシュローディングのリニアスケイティング方式 ● VALIABLE(可変)/FIX(固定)の2系統のLINE OUT端子 ● 出力可変ヘッドホン端子 ● タイマースタンバイスイッチ



PCM PROCESSOR

PCM-501ES

プロ用機器と同じ16ビットフォーマット搭載。さらに、新機能OVCにより、長時間モードでのデジタル録音・再生も可能にした、PCMプロセッサPCM-501ES。

PCM録音の素晴らしさを、気軽に味わっていただきたい。そんな願いを込めて完成したのがPCM-501ESです。CD(コンパクトディスク)やプロ用機器と同じ16ビットフォーマット搭載。さらに、ほとんどのビデオデッキとの組み合わせが可能、しかも、OVC機能の搭載により、最長8時間にもわたる録音・再生が行なえるなど、音質に、機能に、きわめて高いコストパフォーマンスを誇ります。アナログからデジタルへ。ソニーは、「録音」の分野でも、高純度なデジタルサウンドの世界を、ここまで身近にしました。

プロ用機器と同じクオリティで録音・再生が楽しめる16ビットフォーマット搭載。デジタルレコーディングシステム。これは、アナログ信号をプロセッサで0と1だけで構成される2進数のデジタル符号に変換(量子化)してテープに記録するシステムです。したがって、録音→保存→再生というプロセスにおいて音質を劣化させる要素が入り込む余地がなく、オーディオシステムとして理想に近い性能を持っています。しかも、PCM-501ESは、従来の14ビットEIAJフォーマットに加え、コンパクトディスクやプロ用機器に採用されているのと同じ16ビットフォーマットも搭載。これにより、ダイナミックレンジ90dB以上、ひずみ率0.005%以下という優れた特性を獲得。しかも、16ビット/14ビットフォーマットはスイッチひとつで切替えができ、また、16ビットで録音したテープは、他の14ビットシステムでも14ビットと同等の性能で再生できます。

ビデオデッキの長時間モードでの使用を可能にした新開発OVC

(Optimum Video Condition)調整機能。従来、II、III、VHS3倍モードといったビデオデッキの長時間モード使用では、基本モードに比べデジタル信号の読み取りレベルが狭くなることから再生時の音質に悪影響を及ぼしていました。そこでPCM-501ESには、長時間モード時にデータ読み取りレベルを適正值に設定できるOVC機能を装備。3ポイントLED表示のOVCインジケータで確認しながら最適ポイントを設定できます。これにより、PCM-501ESは、ほとんどのビデオデッキとの組み合わせができ、素晴らしい音質で、最長8時間もの録音・再生を可能にしています。(使用するテープとビデオデッキの状態によっては、OVCの調整可能範囲外になることもあります。)

ダビングを繰り返しても音質劣化のないデジタルダビング機能。デジタル録音したテープは、デジタル符号

のままダビングを続ける限り音質劣化がありません。PCM-501ESには、もう1台のビデオデッキを接続して、デジタルダビングが簡単にできる出力端子をバックパネルに装備しました。

●ソニー独自で開発した16ビットA/D、D/Aコンバーターをはじめ、高性能かつ小型化を可能にした、LSI採用による高忠実度設計●ピークホールドとリアルタイムレベルを同時表示するダブルインジケーション方式で、-50dB~0dB(基準レベル-15dB)のワイドレンジをカバーするピークプログラムメーター。加えて、入力信号のオーバーレベルや録音ボリュームの上げすぎを警告し、レベル設定を容易にするOVER表

示機能も装備●ピークプログラムメーターRchにトラッキング状態を表示するトラッキングインジケータ。使用するビデオデッキのトラッキングが容易に調整可能●ドロップアウトが生じた時に、自動的にミュートリングをかけ、快適な再生が楽しめるPB MUTE機能●PCMデジタルサウンドをより美しくするオートエンファシス機能●録音中、無信号部分を簡単にしてくれるREC MUTE機能●各スイッチの動作状態を見やすく表示するFL管による集中ディスプレイ●電源ON/OFFに関係なく画像モニターがでるMONITOR OUT端子●ヘッドホンレベルの調整が可能なヘッドホンボリューム装備。



●テープ別PCM録音・再生時間

タイプ	型式	録音・再生時間(分)	
		II	III
ベータ	L-125	30	45
	L-165	40	60
	L-250	60	90
	L-370	90	135
	L-500	120	180
	L-750	180	270
	L-830	200	300
VHS	T-30	30	90
	T-60	60	180
	T-90	90	270
	T-120	120	360
	T-160	160	480
	標準モード 3倍モード		

※長時間タイプのビデオテープでは十分な性能が得られない場合もあります。

PCMデジタルオーディオ・プロセッサ

PCM-501ES ¥99,800

主な仕様●標準化周波数:44.1kHz●量子化ビット数:16ビット/14ビット直線量子化●周波数特性:5~20,000Hz±0.5dB●高調波ひずみ率:0.005%以下(16ビット)/0.007%以下(14ビット)●ダイナミックレンジ:90dB以上(16ビット)/86dB以上(14ビット)●セパレーション:80dB以上●フワフワッター:測定限界以下●使用ビデオ範囲:ベータマックス、Uマチック、VHS●入力端子:ライン(ピンジャック×2)ビデオ(ピンジャック)●出力端子:ライン(ピンジャック×2)ビデオ(ピンジャック)コピー(ピンジャック)モニター(ピンジャック)ヘッドホン(ステレオ標準ジャック)●電源:AC100V50/60Hz●消費電力:27W●大きさ:430(幅)×80(高さ)×350(奥行)mm●重さ:6.0kg



スリムな8cm。簡単操作、そして充実した映像プレイアウトの発展ビデオ(ベータプラス60)。ビデオカセットレコーダー

SL-HFR60 ¥158,000(新製品)

●ビデオTVコマンダー(RMT-123)付属●大きさ:430(幅)×80(高さ)×365(奥行)mm●重さ:8.1kg



曲の頭出し、曲探しに便利な、インデックスサーチ、インデックススキャン搭載のくべータハイファイ、ベータハイファイ・ビデオカセットレコーダー

SL-HF300 ¥189,000(新製品)

●ビデオコマンダー(RMT-120)付属●大きさ:430(幅)×105(高さ)×382(奥行)mm●重さ:9.8kg



PROGRAM EQUALIZER

SEQ-555ES

理想に近い音場にコンピュータで補正。独立10バンドで緻密な音質調整が可能。高精度プログラムイコライザーSEQ-555ES。

コンパクトディスクの登場。デジタル録音放送が、ぞくぞくとオンエアされる。Hi-Fiサウンドでビデオが楽しめる。今や私たちがとりまくプログラムソースの質は飛躍的に向上しています。そして、そのサウンドの素晴らしさを十二分に堪能するには理想的な音場が必要になってくる——。SEQ-555ES。自動音場補正機能を装備し、ワンタッチで“音場のリファレンス”を創り出すことができるグラフィックイコライザーです。さらに、左右独立10バンドで緻密な音質調整も可能。また、ワイヤレスリモコンを装備し、多彩な機能をリスニングポジションで自在に操れます。



理想的な音場を創り出す自動音場補正機能。

高性能マイクロホン（付属）と内蔵のピンクイズ・ジェネレーターによってマイク設置箇所周囲の周波数特性を最大16ポイントまで測定し、フラット（平均値）にする自動補正機能を装備。“音場のリファレンス”と呼ぶリスニング空間を創り出します。

設定した特性パターンを4タイプまでメモリーが可能。

自動音場補正後に、自分の好みの音質や、

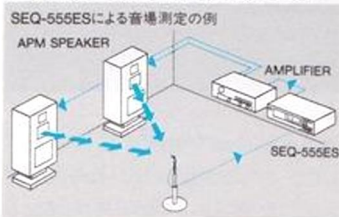
ボーカル、ジャズ、ポップスなどジャンル別の音質補正をした特性パターンを4タイプまでメモリーが可能です。メモリーはワンタッチで呼び出しが可能です。

リスニングポジションから音質の変化も

思いのまま。ワイヤレスリモコン付属。電源のON/OFF、入力ファンクションの切替え、メモリーの呼び出しはもちろん、イコライザーレベル、出力レベルの調整も手元で自由自在に行えます。

リアルタイムアナライザーディスプレイ。

音場補正時にはマイクロホンが拾った音場の音響エネルギーを、イコライザー補正時にはプログラムソースの左右両チャンネルをいっしょにした音響エネルギーを10バンドに分割し、そのレベルをバーグラフに表示します。表示範囲は-60dB～14dBの13ステップ。



高度なイコライジングが可能な左右独立

10バンド電子式イコライザー。

新開発のASP-ICを採用。UP-DOWNのボタンを押すだけで正確なイコライジングが可能です。中心周波数は、31.5Hz/63Hz/125Hz/250Hz/500Hz/1kHz/2kHz/4kHz/8kHz/16kHzの10バンド。

4タイプの固定メモリーを装備。

プロのレコーディングエンジニアによって作られた、ジャンル別イコライザーカーブ3種類と、メカニカルフラットを呼び出せる、4タイプの固定プログラムカーブを内蔵しています。

●イコライザーカーブの＋とーが、ワンボタンで反転するキャラクタースイッチを装備。ヒスノイズ低減システムとして利用することも可能
●イコライザーの調節範囲は2dBステップで

±12dB、1dBステップで±6dBの2種類を選ぶことが可能●イコライザー補正時にL・R各々の調整とL・R同時の調整とが選択できるモードスイッチ●5系統の入力端子を装備。Hi-Fiビデオ系PCMプロセッサなどを接続し、システムコントローラーとして使用するなどシステムアップに幅広く対応●極性表示つきOFC電源コードとACアウトレット採用

※映像信号の切替はできません。

プログラムイコライザー

SEQ-555ES ¥138,000 (マイクロホンECM-150SEQ、マイクスタンド、ワイヤレスリモコン付属)

主な仕様 ●入力端子：MIC、LINE、AUX×2、TAPE×2 ●出力端子：LINE、REC-OUT×2 ●周波数特性：10Hz～100kHz：±1dB (EQ/LINE＝全FLAT) ●ひずみ率：0.006% (+2.2dB、1kHz) ●SN比：97dB (Aネットワーク EQ/LINE＝全FLAT) ●利得：0dB ●可変範囲：±12dB (2dBステップ)、±6dB (1dBステップ) ●レベルアジャスト調整範囲：0～68dB、∞ (2dBステップ/マニュアル時) ●自動音場補正測定レベル：約74dB SPL ●自動音場補正測定時間：2秒 (Lch、Rch共、測定レベル達成後) ●自動音場補正測定回数：最大16回まで ●固定メモリー：A/主にリズム音楽用、B/主に女性ボーカル用、C/クラシック・ムードミュージック用、FLAT/EQポリューム全バンドで0dB ●電源：AC100V ●消費電力：22W (リモコン待機時7W) ●大きさ：430(幅)×105(高さ)×275(奥行)mm ●重さ：5.2kg



SEQ-555ESを生かして高品位なサウンドが楽しめる推奨システム。

●ステレオプリメインアンプTA-F555ES ¥99,000 ●ビデオカセットレコーダーSL-HFR30 ¥137,000 (ワイヤレスリモコンRMT-119付属) ●ハイファイプロセッサHFP-100 ¥49,800 ●クオーツロック・デジタルシンセサイザーチューナーST-S555ES ¥65,000 ●PCMデジタルオーディオ・プロセッサPCM-501ES ¥99,800 ●コンパクトディスクプレーヤーCDP-501ES ¥168,000 (ワイヤレスリモコンRM-111付属) ●プログラムイコライザーSEQ-555ES ¥138,000 ●トリコン・カラーモニター・プロファイルKK-27HF3 ¥250,000 ●カラーテレビチューナーVT-X2R ¥70,000 (リモコンRM-S15付属) ●プロファイル用ビデオスタンドSU-83F ¥25,000 ●3ウェイスピーカーシステムAPM-55W ¥108,000 (1台) ●スピーカーカーストWS-500 (2台組) ¥8,500



AMPLIFIER

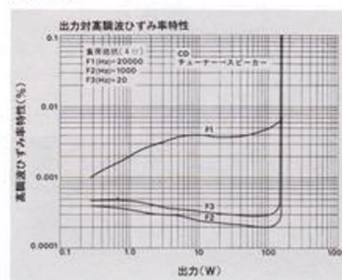
TA-F333ES

デジタルを鳴らしきる、実用ダイナミックレンジ120dB、そして140W+140Wのハイパワー。さらに、AVに対応するファンクションも装備したF333ES。

デジタルオーディオとA&V。いま、オーディオシーンは、この2つの大きな流れを形成しつつあります。F333ESは、こうしたプログラムソースの多様化に照準を合わせ誕生した新しいコンセプトのプリメインアンプです。ソニー独自のオーディオ・カレント・トランスファを技術の中心に据え、実用ダイナミックレンジ120dB、そしてパワーアンプ部にも強化をはかり、出力140W+140W(4Ω)という、デジタルソースを鳴らしきる実力を獲得。さらに、Hi-Fiビデオやビデオディスクなども接続できるAVファンクションも装備するなど、まさに時代のニーズに応えるクオリティと操作性を両立したニューモデルです。

すべて電圧として現われる相互干渉やノイズを可能なかぎり抑えるオーディオ・カレント・トランスファ方式。この方式は、プリアンプ部とパワーアンプ部の間に、カレント変換アンプを挿入して、電圧信号として出てくるプリアンプ部の出力をいったん電流信号に変換。その後カレント変換アンプ終段に設けられたリニアゲインコントロール方式アッテネーターにより改めて電圧信号に戻すというもの。したがって、パワーアンプから見たプリアンプは無限大のインピーダンスを持ち、電気的に完全に分離した状態になります。同時にL・Rチャンネル間もセパレート化され、次のようなメリット①プリアンプ、パワーアンプ及び、L・Rチャンネルごとに独立した特性追求が可能②スイッチやコネクタの接触抵抗、線材の持つ固有インピーダンスなどを音を汚す要因

を無視できる③オーディオ・カレント・トランスファ方式で使用可能になったリニアゲインコントロール方式アッテネーターを音量調整用ボリュームに採用。これにより、一般的なリスニングレベル(アッテネーター、-30dBの位置)での諸音響特性が良好になる、などがあげられます。このことから、実用ダイナミックレンジ120dB、セパレーション100dB(at 1kHz)という驚異的な数値をマーク。デジタルソースのクオリティを余すところなく伝えます。



ハイパワー140W+140W。スーパーレガートリア方式採用のパワーアンプ部。ミュージックソースの広ダイナミックレンジ化が進み、パワー面にも十分な余裕が必要になってきています。F333ESは、強力な電源部に支えられた140W+140W(4Ω)というハイパワー。さらに、1Ω負荷時に於いても350W+350Wという瞬時供給出力が得られるなど、優れたパワー供給能力を發揮。しかも、電源干渉を排除するESフィルター、パワーアンプ部出力段のスイッチングひずみ、クロスオーバーひずみを広帯域にわたり減

させるスーパーレガートリア方式を採用し、デジタルソースの持つ躍動感をビュアに描き出します。映像入力を2系統装備した、AV対応のファンクション切替えスイッチ。フロントパネルにずらりと並んだ7系統のファンクションスイッチ。F333ESでは、5系統のオーディオ入力に加え、2系統の映像入力を装備。(VIDEO2は再生のみ)映像ダビングもワンタッチで行えます(REC OUTセレクターとの組み合わせにより、映像と音声の同時ダビングも可能)。さらに、バックパネルにはモニターTVが接続できるMONITOR TV OUT端子を装備しています。

音質のために吟味した高品質パーツの使用。MCカートリッジ対応のフォノ・イコライザーアンプには、高域応答特性に優れ、TIMひずみを追放するローノイズHi-gmFETを採用、この他に、LC-OFCを使った配線材の採用。磁気ひずみを低減する高剛性銅メッキ

ステレオ・プリメインアンプ
TA-F333ES ¥79,800(新製品) 別売サイドワットTAC-125 ¥4,400(新製品)
主な仕様●定格出力:140W+140W(20Hz-20,000Hz,0.008%,4Ω)●高調波ひずみ率:0.002%(8Ω,10W)●SN比:83dB(MM),71dB(MC)●ダイナミックレンジ:120dB●大きさ:430(幅)×135(高さ)×425(奥行)mm●重さ:13.5kg●消費電力:248W

キシャーシ、大容量コンデンサー、放熱性の高い大型ヒートシンクなど、音質を重視したパーツを大量投入しています。



●電源を入れた後、アンプが安定した動作に移るまでのミューティング状態を点滅で知らせるスタンバイインジケーター装備●MCカートリッジ(40Ω/3Ω)も接続できるカートリッジロードセレクター●リスニング中のソースにかかわらず録音ソースが選べ、ビデオとオーディオの相互ダビングも可能なAUDIO RECOUTセレクター●スピーカーA/B/OFFの切替スイッチ●トーンコントロール回路をパスするダイレクトスイッチ●ベースブースト●サブソニック●極性表示ACアウレット及び極性表示OFC電源コード●スピーカー保護回路。



AMPLIFIER

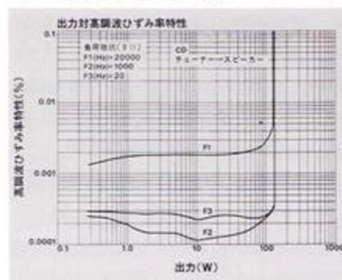
TA-F555ESII

ソニー独自の技術をベースに、実用ダイナミックレンジ120dB、出力180W+180Wをマーク。デジタル、そしてAVに照準を合わせたF555ESII。

ダイナミックレンジ90dBにも及ぶCDサウンドを楽しむ。Hi-Fiでビデオを楽しむ。私たちがとりまくプログラムソースは、ハイグレード化、そして多様化しています。と同時に、オーディオシステムの核となるアンプに変化を迫っているのです。F555ESIIは、ソニーが以前から提唱し続けているシンプル&ストレート思想を徹底。オーディオカレントトランスファ、スーパーレガトリニアといった回路技術をベースに細部に至るまでブラッシュアップし、実用ダイナミックレンジ120dB、出力180W+180W(4Ω)というデジタルソースにも余りある数値をマーク。そして新たに、映像入力も装備するなど、A&Vへの発展も考えた設計を施しています。

すべて電圧として現われる相互干渉やノイズを極限まで抑えるオーディオカレントトランスファ方式。プリアンプ部とパワーアンプ部、そして、左右チャンネル間、合計4つのアンプを電気的に独立させることにより、次のようなメリットを生み出すオーディオカレントトランスファ方式を採用①プリアンプとパワーアンプ及びL・Rチャンネルごとに独立した特性が追求できる②スイッチやコネクタの接触抵抗、線材の持つ固有インピーダンスなど音を汚す要素を無視できる③オーディオカレントトランスファ方式で使用可能になったリアゲインコントロール方式アッテネーターをボリュームコントローラーに採用。一般的なリスニングレベルでの諸音響特性が向上。これらのことから、実用ダイナミック

レンジ120dB、セパレーション100dB(at 1kHz)というデジタルソースにも余りある素晴らしい数値を獲得しています。



1Ω負荷時の瞬時供給能力500W。スーパーレガトリニア方式を採用した強力なパワーアンプ部。F555ESIIは、大型トランス、大容量ケコンを採用した強力電源により180W+180Wという余裕のパワーを4Ωスピーカー負荷時にもギャランティ。デジタルソースのはちきれそうな躍動感をも、ありのまま伝えます。また、アンプにとって過酷なローインピーダンス時にも(1Ω負荷時の瞬時供給能力500W+500W)優れたパワー供給能力を発揮。しかも、電源干渉を排除するESフィルター、スイッチングひずみ、クロスオーバーひずみを激減させるソニー独自のスーパーレガトリニア方式を採用。エネルギーを無駄にせず、細かさをもとに満たすパワーアンプ部です。デジタル、そしてAVにも対応した、7系統のファンクション切替スイッチ。CDをはじめとするオーディオ入力5系統に加え、Hi-Fiビデオ、ビデオディスプレイヤー

などが接続できる映像入力を2系統装備。VIDEO2→VIDEO1への映像ダビングもワンタッチで行えます。また、RECOUTセレクターの切替えて、映像と音声の同時ダビングも可能です。



音質を重視した高品質パーツを厳選使用。MCカートリッジ対応のフォノ・イコライザーアンプに、ローノイズHi-gmFETを採用。この他に、LC-OFCを使用した内部配線材の採用、磁気ひずみそして、振動ひずみを追放する高剛性銅メッキシャーシー、大容量



コンデンサー、放熱性の高い大型ヒートシンク、さらには、シャーシーの共振を抑え、アウトロックにも高級感を醸し出すウッドケースの装備など、音質のために厳選したパーツを惜しまず投入しています。



●電源を入れた後、アンプが安定した動作に移るまでのミューティング状態を点滅で知らせるスタンバイインジケーター装備

●MCカートリッジ(40Ω/3Ω)も接続できるカートリッジロードセレクター●リスニング中のソースにかかわらず録音ソースが選べ、ビデオとオーディオの相互ダビングも可能なAUDIO RECOUTセレクター●スピーカー切替スイッチ●トーンコントロール回路をパスするダイレクトスイッチ●ベースブースト●サブソニック●極性表示ACアウトレット及び極性表示OFC電源コード●スピーカー保護回路。

ステレオ・プリメインアンプ
TA-F555ESII ¥128,000 (新製品)

主な仕様●定格出力: 180W+180W(20Hz-20,000Hz, 0.008%, 4Ω) ●高調波ひずみ率: 0.002%(8Ω, 10W) ●SN比: 83dB(MM), 73dB(MC) ●ダイナミックレンジ: 120dB ●大きさ: 470(幅)×135(高さ)×425(奥行)mm ●重量: 17.5kg ●消費電力: 275W



AMPLIFIER

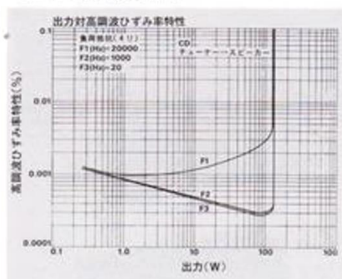
TA-F777ES

デジタルソースの至純のサウンドを、純粹なままに、
 余裕をもってスピーカーに導く。"ES"シリーズのプレステージアンプF777ES。

音楽信号の「シンプル&ストレート伝送」。F777ESは、このアンプの基本理念を、回路技術はもちろん、コンストラクション、細部に至るパーツひとつひとつにまで徹底して貫いた"ES"シリーズの最高峰モデル。デジタルソースの至純の音楽を、まさに至純のまま守り抜きます。

4つのアンプ間の干渉を無くした、オーディオ・カレント・トランスファ方式。ステレオプリメインアンプの中には、プリアンプ部とパワーアンプ部それぞれにL・R2個ずつ、合計4つのアンプが共存しています。このため全体としての性能の向上を図るには、個々のアンプ部の特性改善が必要であると、お互いの影響を無くすることも重要なポイントとなります。そこでソニーは、プリメインアンプの核心テクノロジーとして「オーディオ・カレント・トランスファ」を開発。この方式は、プリアンプ部とパワーアンプ部の間に新たにカレント変換アンプを挿入して、電圧信号として出てくるプリアンプ部の出力を、いったん電流信号に変換、その後カレント変換アンプ終段に設けられたリニアゲインコントロール方式アッテネーターにより、再び電圧信号に戻そうというものです。したがって、パワーアンプから見たプリアンプ部は無無限大のインピーダンスを持ち、電気的にも完全に分離された状態となります。同時にL・Rチャンネルもセパレート化され、次のメリットを生み出しています。①プリアンプとパワーアンプ、及びL・Rチャンネルごとに独立した特性追求が可能②スイッチやコネクタの

接触抵抗、線材の持つ固有インピーダンスなど、音を汚す要因を無視できる③オーディオ・カレント・トランスファ方式で使用可能になったリニアゲインコントロール方式アッテネーターを音量調整用ボリュームに採用。これにより、ゲインを絞るほどインピーダンスが低下するので実使用のボリュームポジションでの諸音響特性が向上するなど、これらのことから、実用ダイナミックレンジ120dB、セパレーション100dB(at 1kHz)という目ざましい特性を獲得。デジタルソースの素晴らしさをそのままの鮮度で味わい尽くせます。また、プリアンプ部電源には、定電流シャントレギュレーターを採用。パワーアンプ電源からの影響を排除し、安定したレギュレーションを保証します。



動的ひずみを追放するレガートリア方式採用。180W+180W(4Ω)のパワーアンプ部。パワーアンプ部には、バイアス移動や電源電圧を変化させずに、高速出力素子Hi-FETトランジスタを極小カットオフ領域で働かせるレガートリア方式を採用。しかも、4パラブッ

シュ構成とし、広帯域にわたりスイッチングひずみ、クロスオーバーひずみといった動的ひずみを激減。さらに、2電源トランス、6巻線、7電源の強力な電源部を搭載。180W+180Wというデジタルソースを生かす余裕あるパワーを4Ωスピーカー負荷時にもギャランティ。音の美しさとエネルギー感を、ともに満たすパワーアンプ部です。低域の安定をはかるDCサーボと熱変調ひずみを防止するコンスタントPC回路。信号系のコンデンサーによる音質的な悪影響を防止するDCアンプ方式。F777ESではそのDCアンプの動作を安定化させ、充実した低域を得るために、カレントトランス部にDCサーボを採用。また、回路、素子の熱変調ひずみを追放するためにコンスタントPC回路をイコライザーアンプとパワーアンプ初段の差動部に採用。可聴帯域内での分解能の向上をはかっています。聴感と特性の両面から、選び抜いた高品質パーツ。配線材、プリント基板、さらに電源コードに至るまでLC-OFCを採用。加えて、大容量コンデンサー、磁気ひずみを追放する銅メッキシャーシー、放熱性の高い大型ヒートシンクなど、音質を重視した構成部品を厳選使用しています。

ステレオ・プリメインアンプ
TA-F777ES ¥185,000

主な仕様●定格出力：180W+180W(20Hz~20,000Hz, 0.004%, 4Ω)●高調波ひずみ率：0.004%(20~20,000Hz, 定格出力時)●SN比：82dB(MM)、74dB(MC)●ダイナミックレンジ：120dB●大きさ：430(幅)×155(高さ)×450(奥行)mm●重さ：19.0kg●消費電力：300W



●コア材にアルムファス合金を使用し、特殊充填処理を施したMCカートリッジ用昇圧トランス内蔵●MM：330pF/100pF、MC：40Ω/3Ω各2ポジションのカートリッジセレクター●聴いているソースとは別に録音ソースが選べるREC OUTセレクター●DIRECT/ON切替え可能なトーンコントロール●ベースブースト●サブソニックフィルター●A/OFF/Bスピーカーセレクター



■AUDIO VIDEO CONTROLLER

AVH-555ES

美しい音質、そして鮮明な画質をそこなわずにオーディオ&ビデオを高度に操る。
音と映像の可能性を広げるハイファイ・オーディオ/ビデオコントローラー。

音を視る。映像を聴く。いま、オーディオとビデオは、限らないイメージの拡がりを求めて、ひとつになろうとしています。AVH-555ESは、オーディオ機器5系統、映像機器5系統を集中接続。さらに、オーディオソース、映像ソースの組合せも自由自在。AVを簡単な操作で縦横無尽に楽しめる、ハイファイ・オーディオ/ビデオコントローラーです。また、マイコンを使用したファンクションスイッチの採用、ノイズの影響を断ち切るためにACアウトレットを本体から分離するなど音質の面にも十分な配慮を行っています。

オーディオ/ビデオ10系統を接続。
しかも、電源のON/OFFまでも集中コントロール。

AVH-555ESは、オーディオ機器5系統、映像機器5系統の集中接続が可能。しかも、視たい、聴きたいソースのファンクションスイッチを押すだけで、必要な機器(たとえば、VIDEO1を押すと、接続されたアンプ、モニターTV)の電源も同時に入り、好きなプログラムソースが、すぐに楽しめます。

音と映像との組合せも自由自在に行えるファンクションスイッチ。

TV、そしてVIDEO1~4からの、視たい映像と、オーディオソース5系統からの、聴きたいサウンドとの組合せもファンクションスイッチを押すだけで思いのまま。BGV(Back Ground Video)が簡単な操作で満喫できます。

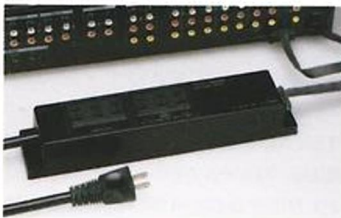
お気に入りの場所から、あらゆる操作が可能なワイヤレスリモコン付属。

電源のON/OFF、ファンクション切替は

もちろん、マスターボリュームのアップ/ダウンも離れた所から自由に行えるワイヤレスリモコン(RM-34)を付属しています。

音質、画質へのノイズの心配を無くす、本体から分離されたACアウトレット。

数多くの機器を接続するからには、ACアウトレットは必要不可欠です。AVH-555ESでは、アウトレットコントロールスイッチと連動する、TV、AMP、SOURCEの3系統と非連動3系統(1系統はAVH-555ES用)を装備。しかも、このアウトレットを本体から分離し、オーディオ信号、ビデオ信号へのノイズの心配を無くしています。



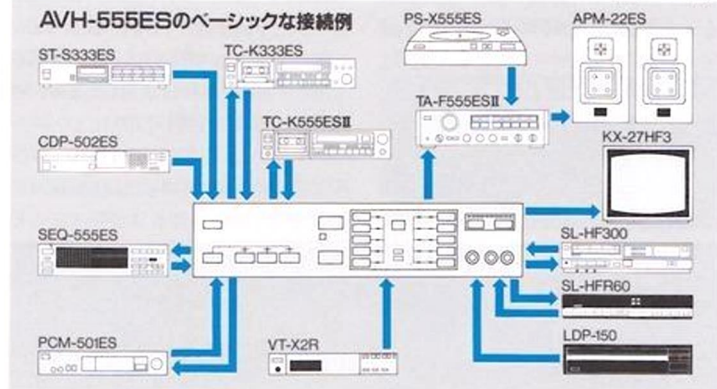
グラフィックイコライザー専用スイッチ。

接続されたすべての機器のサウンドに対して、イコライジングが可能。グラフィックイコライザー専用スイッチを装備。オーディオ同士のダビングや自作のBGVなどのエディティングにとっても便利です。

3台のビデオデッキでデジタル録音が可能なPCM専用スイッチ。

PCMプロセッサーを一度接続すれば、接続を変えることなく、3台のビデオデッキでPCM録音/再生が楽しめます。(ソニーのPCMプロセッサーのみ)

●軽く押すだけ。音質劣化が少ないメカニカルボリュームコントローラー●フロントパネルに、ビデオ入力(再生専用)、オーディオ入力を各1系統装備(金メッキ端子)。パソコンやビデオディスクプレーヤーなどの接続に便利●再生または録音中のソースがひと目でわかるLEDを採用した集中ディスプレイ●不要な機器の電源をカットするアウトレットコントロールスイッチ●LINE OUTがバリエアブルと固定とに切替えが可能。



オーディオ/ビデオコントローラー

AVH-555ES ¥49,800 (リモートコンマナーRM-34) (11月21日発売)

主な仕様 ■音声入・出力 ●入力端子: TUNER, CD, AUX, TAPE1, TAPE2, TV, VIDEO1, VIDEO2, VIDEO3, VIDEO4, EQUALIZER, PCM(ステレオ対応) ●インピーダンス: 50kΩ ●出力端子: REC1, REC2, VIDEO1, VIDEO2, VIDEO3, LINE OUT, EQUALIZER, PCM(ステレオ対応) ●インピーダンス: 1kΩ ●音声電圧利得: 0dB(1kHz) ■映像入・出力端子 ●入力端子: TV, VIDEO1, VIDEO2, VIDEO3, VIDEO4, PCM ●インピーダンス: 75Ω不平衡 ●基準信号レベル: 1Vp-p ●出力端子: VIDEO1, VIDEO2, VIDEO3, MONITOR, PCM ●最適負荷インピーダンス: 75Ω不平衡 ●基準出力レベル: 1Vp-p ●定格電源: AC100V/50/60Hz ●消費電力: 15W ●大きさ: 430(幅)×105(高さ)×270(奥行)mm ●重量: 5.4kg ■ACアウトレット・ユニット ●本体との分離型 ●連動3、非連動3(附属専用ケーブルで本体のファンクションSWと連動) ●合計定格: 1.500W



TUNER

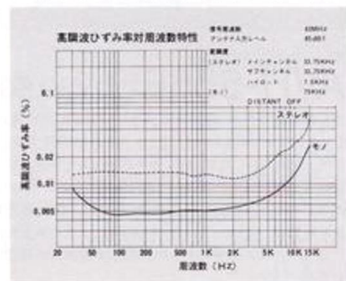
ST-S333ES

新開発「WAVE OPTIMIZER TECHNOLOGY」を採用し、実効選択度60dB、ステレオひずみ率0.015%を獲得。実使用におけるクオリティを追求したS333ES。

放送局におけるPCMネットワーク中継回線の充実、コンパクトディスクをソースとする番組の増加など、FM放送のハイクオリティ化には目をみはるものがあります。また、同時にFMの多局化も進み、まさにFMの新時代を迎えようとしています。それならば、チューナーもリファインされる必要がある。ST-S333ES。ノイズやビートの発生を激減するダイレクトコンパレータの採用はもちろん、新たに「WAVE OPTIMIZER TECHNOLOGY」を導入し、ステレオSN比88dB、ステレオひずみ率0.015%という目ざましい特性をマーク。加えて、10局ランダムプリセット、タイマー対応4局メモリー機能など、操作性も一段と磨き上げています。

高選択度と低ひずみ率を両立させる「WAVE OPTIMIZER TECHNOLOGY」FM多局化に伝えるには、高選択度を確保することが不可欠になってきます。そして、音質の向上に対しては低ひずみ率化を臨まなければなりません。しかし、この2つの要素は互いに相反する性格を持っており、両立するのはさきわめて難かしい問題でした。そこでソニーは新たに「WAVE OP-

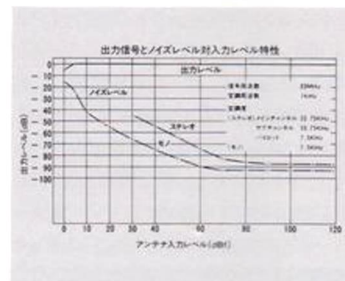
TIMIZER TECHNOLOGY」を導入。そのひとつが、WODD (WAVE OPTIMIZED DIRECT DETECTOR)の採用です。FM放送は、音楽信号によりFM変調をかけて送り出されています。この変調によってIF信号は、いつも微妙に変動しているわけです。つまり、VCOを10.7MHz付近で動作させてやればFM変調されたIF信号がダイレクトに検波されることになります。WODDは、このVCOの非直線性を補正して直線化をはかることにより低ひずみ率を実現。IF信号をクリアに検波します。加えて、WAVE OPTIMIZED IF SYSTEMを採用。IF段は、10.7MHzの信号を安定に増幅するとともに、選択度を持たせる必要があります。しかし高選択度を得るためには、ひずみの増加、というネックがありました。WAVE OPTIMIZED IF SYSTEMはモノラル時には群遅延波形の最適化、ステレオ時には振幅波形の最適化を行ない、モノラル・ステレオで独立してIF波形を最適化し、ひずみを大幅に低減させています。これらの結果、S333ESでは、選択度60dBを確保し、ステレオひずみ率



0.015%、モノラルひずみ率0.006%という素晴らしいスペックをマーク。高い選択度と優れた音質とを両立させています。93dBの高SN比とワイドなダイナミックレンジを実現するダイレクトコンパレータ、シンセサイザーの比較周波数を、チャンネルプランと同じ100kHzに上げたダイレクトコンパレータ方式を採用。音を汚すノイズやビートを激減させ、SN比93dB(モノラル)、88dB(ステレオ)を獲得しています。多彩なメモリー機能をはじめとする、シンセサイザー方式ならではの素晴らしい操作性。局の周波数の他に、ミュートON/OFF、FMオート・ステレオ/モノ、DISTANT、のポジションまでも記憶するマルチプロセスメモリーによるFM/AMランダムプリセット。さらに、オート/マニュアル/スイープの3つのチューニング機構も装備。また、タイマー対応4局プログラムメモリーにより、4局にまたがった留守録音を可能にするなど、操作性も高度に磨き上げています。

●FM受信時 WODD自体を持つ高選択

度特性を利用し、ひずみを極力抑えて選択度を切替えられるDISTANTスイッチを装備●メモリスキャン●セラミック発振子でVCOを構成する新開発PLLMPX採用●デュアルゲートMOS FET採用の高性能フロントエンド●AM電波の受けやすい方向へ自由に設定できるウェーブキャッチャー●高品位なAM受信を可能にする4素子ラダーフィルタ採用●受信状態を総合表示する集中ディスプレイ●75Ω同軸アンテナ用F型コネクタ●リチウム電池によるメモリーバックアップ●タイマー(PT-D555ES)での直接受信予約可能。



集中ディスプレイ(フル点灯した状態で実際とは異なります。)

クオーツロック・FM/AMデジタルシンセサイザーチューナー
ST-S333ES ¥49,800 (新製品) 別売サイズワット TAC-75 ¥3,600 (新製品)
 主な仕様●実用感度: 0.9μV(8F)、10.3dB(新8F) ●ステレオひずみ率: 0.015%(1kHz) ●実効選択度: 60dB(400kHz)、70dB(DISTANT) ●スプリアス妨害比: 100dB ●SN比: 88dB(ステレオ)、93dB(モノ) ●セパレーション: 58dB(1kHz) ●大きさ: 430(幅)×80(高さ)×340(奥行き)mm ●重さ: 4.1kg ●消費電力: 11W ●局名表示ラベル付属



PROGRAM TIMER

PT-D555ES

機能、操作性、そしてフォルムまで、すべてに高水準のクオリティを追求。
音楽の時間を、自在に、しかも厳密にコントロールする、オーディオタイマーPT-D555ES。

デジタルサウンド時代のリファレンスを指標したソニーのコンポーネント、「ES」シリーズ。PT-D555ESは、その一員として、機能・操作性・クオリティすべてに高い水準を求めたオーディオタイマーのプレステージモデルです。コンパクトディスクのプレイバックソースやPCM録音ソースにより、さらにオーディオソースとして魅力を増したFM放送の留守録音から、オーディオ&ビデオシステムのトータルな時間制御まで、クオーツ精度で厳密かつフレキシブルなコントロールを可能にします。

曜日予約4組、毎日予約3組の

ON/OFF予約が可能

2週間7プログラム・タイマー。

曜日予約は、4つのプログラムに、単独はもちろん複数の曜日を自由に指定して、電源ON/OFF予約できる機能です。しかも、毎週動作に加えて、1回限りの動作を予約できるワンズ機能も装備。たとえば、プログラム①を使って土・日を除くウィークデイの帯番組を毎日エアチェックし、②では来週の土曜日の特別番組のみをエアチェック予約したり、さらに、タイマー対応プログラム機能付きのチューナーを使えば、複数の局の番組も留守録音できます。しかも、このPT-D555ESは、目覚まし再生などに便利な毎日予約を3プログラム装備しています。

3つのシステムを独立して

時間制御できるA・B・C3系統のACアウトレット。

PT-D555ESは、A・B・C3系統各2個(Cの1個は常時通電)合計6個のACアウトレット

を自由に組合わせてON/OFF予約できます。たとえば、Aにアンプとチューナー、BにPCMプロセッサと特定のビデオデッキ、Cにはカセットデッキを接続すれば、デジタル録音とアナログ録音を番組別に使い分けて、留守録音ができます。また、A・B・C3系統それぞれにタイマー予約に関係なく接続機器の電源ON/OFFができるマニュアルON/OFFスイッチも装備しています。

減算機能つきストップウォッチをはじめとする多彩な付属機能。

ストップウォッチ機能：最長アカウント59分59秒で、積算、減算の両機能を装備。テープ編集などにとても便利です。

SLEEP機能：最長100分後まで分単位でセットして、接続機器を自動的に電源OFFにできます。アウトレットの指定も可能。

READY機能：分単位で最長100分までの希望時間後に、指定したアウトレットの接続機器を電源ONにできます。録音したい番組の開始が迫っている時などに便利です。アラーム機能：プログラム予約を利用して、希望時刻に電子音を鳴らせます。目覚まし用としてはもちろん、接続機器のON予約時刻に同期して鳴らすこともできます。

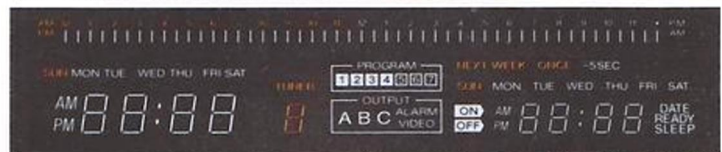
ベータ・ハイファイビデオ(SL-HF55/HF300/HF355)でのFM留守録音が簡単に行えるビデオコントロール機能。

PT-D555ESは、バックパネルにビデオコントロール出力を装備。ここにソニーのベータ・ハイファイビデオデッキを接続しておけば、プログラム予約したチューナーとビデオデッキ

の録音ON/OFFを同期させることができます。接続には別売コードRK-G50を使うだけで、ビデオデッキの電源コンセントはPT-D555ESにつきぐ必要はありません。これにより、ベータ・ハイファイ方式ならではの素晴らしい音質で、最長5時間(IIIモードでL-830カセット使用)という長時間録音ができる他、PCMプロセッサを併用して、デジタル録音をするなど、エアチェックのマスターテープ作りに便利な機能です。

●現在から24時間以内のプログラムの子約時間がひと目で分かるバーグラフディスプレイを装備。さらに、次の予約のプログラムNo.や指定したアウトレットなども同時にデジタル表示 ●現時刻と曜日、タイマー予約をした曜日、ON/OFF時刻などの表示を独立させたデュアル・ディスプレイ(秒および日付表示切替も可能)。現時刻を確認しながらタイマーセット可能 ●時刻合わせやタイマー

予約など、セッティングは、ディスプレイの点滅部分を点灯キーで合わせる簡単操作。操作手順に従って1つの入力が終わるごとに点滅部分と点灯キーが変わり、スピーディーにインプットが可能 ●プログラムごとに、予約した曜日、ON/OFF時刻、指定したアウトレットなどの内容チェックが簡単にできるリスト機能を装備 ●誤ってキーに触れても予約が消される心配のないチャイルドロック機構を装備 ●周囲の明るさに応じて、ディスプレイの明るさを変えるオートタイマー機能 ●最長72時間の停電補償用バックアップ電源内蔵 ●極性表示つきOFC(無酸素銅)電源コード



プログラム内容が一目でわかる集約ディスプレイ(フル点灯した状態で実際とは異なります。)

オーディオタイマー
PT-D555ES ¥34,800

主な仕様 ●電源周波数：AC100V、50Hz/60Hz ●消費電力：9W ●時刻表示：7セグメント4桁蛍光表示管によるデジタル表示(時・分切替えによる秒表示)、12時間表示、24時間表示、現在時刻とタイマー時刻/月日を独立させた2重時刻表示 ●時計同期方式：クォーツロック方式 ●時計精度：月差±15秒(常温) ●タイマー精度：-0.02秒以内 ●タイマー形式：①24時間式、②曜日のセット4組 ●タイマーセット：2週間にON/OFF合計7組(最高7組×14日-98回動作) ●タイマーセット時間間隔：1分 ●停電補償時間：72時間(バックアップ電池内蔵、充電時間72時間以上) ●電源コンセント：タイマー連動5個、常時通電1個、合計1,100W以下 ●大きさ：430(幅)×80(高さ)×245(奥行)mm ●重さ：約3.4kg



CASSETTE DECK

TC-K333ES

あのK555ESIIの設計ポリシーを可能な限り継承。
徹底して音質を磨き抜いた"ES"シリーズの、ニュー・スタンダードモデル。

デジタルサウンドを録る、新しいリファレンスデッキとして誕生したK555ESIIの最も進んだテクノロジーをふんだんに盛り込み完成させたK333ES。その基本性能の高さ、音質の素晴らしさに、とてつもないハイコストパフォーマンスを誇る"ES"シリーズの新・スタンダードモデルです。

ヘッドにLC-OFC巻線を採用。さらに音質を追求したレーザーアモルファスヘッド搭載の独立懸架3ヘッド方式。



優れたSN比と周波数特性を持つ極めて完成度の高いヘッドとしてソニーが誇るレーザーアモルファスヘッド。K333ESでは、上級機K555ESIIで初めて採用されたコイルの巻線にLC-OFCを使用し、さらに完成度を高めたLC-OFCレーザーアモルファスヘッドを搭載。LC-OFCとは、純度99.99%の無酸素銅の結晶を巨大化して結晶境界の数を減らし、容量リアクタンスによるひずみを極限にまで少なくしたものです。録音ヘッドと再生ヘッドそれぞれに正確なアジマスが得られ、ヘッドタッチも均一な独立懸架3ヘッド構成と相乗効果による素晴らしい音

質は、デジタルサウンドなどクオリティの高いソースでの録音/再生で、はっきりとおわかりになることでしょう。

安定したテープ走行を約束するクローズドループ・デュアルキャプスタン方式。これは、ヘッドを中心に配置した2組のキャプスタンとピンチローラーでテープをはさみ込み、テープ走行を安定させる方式です。そのメリットとして、①リールから伝わるテープ振動を断ち、ワウ・フラッター特性が向上②テープの振動スパンを短かく区切れるためモジュレーションノイズを可聴帯域外へ追放できる③2つのテープテンションを利用し、常に一定したヘッドタッチが得られる、など、このオープンリールと同じ方式により、テープ走行の安定性、テープとヘッドとの密着性を、さらに高めています。

信号系を、よりシンプル&ストレート化する全段DCツイーンモノ・コンストラクションのアンプ部。

アンプ部は、録音、再生アンプを左右対称設計の全段L・Rツイーンモノ・コンストラクションにすることで左右チャンネルの信号の流れを等質化して相互干渉を断ち、前後段の干渉も極力抑えています。あわせて、アンプ部を一枚のプリント基板にまとめ、配線材の引き回しを大幅に減少させることができました。しかも残ったヘッドと基板間などの配線材にLC-OFC線を使用。加えて、新開発の電解コンデンサなどの厳選パーツを使用するなど、細部まで音質重視設計を徹底させています。



さらにシンプル化をはかったシンメトリプロセドルビーIC。ドルビーNR・B・C回路を構成するICには新開発デュアル・シンメトリプロセドルビーICを使用。左右チャンネル用それぞれ互いにシンメトリな構造になるように設計したICを、さらにワンパッケージ化。アンプ部をよりシンプルにまとめることができ、音質の向上をはかっています。



ステレオ・カセットデッキ

TC-K333ES ¥79,800 (新製品)

主な仕様 ●ヘッド: 消去1, 録音1, 再生1 ●モーター: リニアBSLモーター1, DCモーター1 ●SN比: ※56dB, 60dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、73dB(ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性: ※25~19,000Hz±3dB(METALカセット) ●周波数範囲: ※20~20,000Hz(METALカセット) ●ワウ・フラッター: ※±0.06%Wpeak, 0.04%WRMS ●ひずみ率: ※0.5% ●大きさ: 430(幅)×105(高さ)×330(奥行)mm ●重量: 6.2kg ●消費電力: 26W
※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

- 使用頻度の高いTYPE I/IIの2ポジションで調整可能な±20%のバイアス微調整機能を装備、同一ポジションでも微妙に異なるテープの特性に応じて、テープモニターしながら好みのチューニングが可能
- テープ走行量を分秒単位(デジタル)で表示するリニア電子カウンター。テープ残量を直読できる減算機能つき●一瞬一瞬のピーク値と約2.4秒間のピークホールドを同時表示するダブルレンジゲージ方式採用のワイドレンジピークプログラムメーター
- 多機能集中ディスプレイ●フェザータッチオペレーション●カウンター連動メモリストップ/プレイ●オートスペースつき
- REC MUTE●MPXフィルタースイッチ●別売リモートコントロールユニットにより、ワイヤード/ワイヤレス/フットリモコンなど多彩なリモートコントロールが可能●別売タイマーによる連続留守録音/目覚まし再生が可能
- 別売RM-65の使用により、ソニーのプレーヤーとスタート/ストップのタイミングを合わせたシンクロプレイが可能●金メッキ処理の入出力ジャック●極性表示つき無酸素銅電源コード。



CASSETTE DECK

TC-K555ESII

K555ESを、さらにリファイン。デジタルソースの完璧なまでの録音/再生を目指した新・デジタルリファレンステッキK555ESII。

LC-OFC巻線を採用。さらに音質に磨きをかけたレーザーアモルファスヘッド搭載の独立懸架3ヘッド方式。

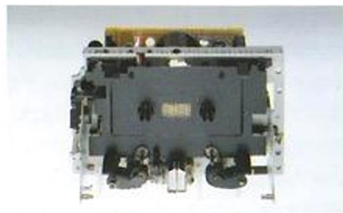
結晶構造を持たないアモルファス合金をヘッドのコア材に使用。ヘッドの特性とテープの持ち味を十二分に引き出すレーザーアモルファスヘッド。K555ESIIでは、このレーザーアモルファスヘッドの巻線に、第一種無酸素銅(純度99.995%以上)の結晶を巨大化することで、結晶境界の数を少なくし、容量、リアクタンスによる信号のひずみを減少させた、LC-OFC(Linear Crystal・Oxygen Free Copper)を採用。より高密度な録音・再生を可能にし、デジタルソースの持つクオリティを見事に生かします。さらに、独立懸架3ヘッド方式を採用。構造的には録音ヘッドと再生ヘッドは独立しているから、占有スペースはコンベクションヘッドと同等。均一なヘッドタッチが得られ、製造工程でアジマス精度が追いつめる利点があります。



安定したテープ走行を実現する、クローズドループ・デュアルキャプスタン方式。

優れたヘッドを生かすには優れた走行メカニズムが必要です。K555ESIIでは、オープンリールデッキで実績を積んだクローズド

ループ・デュアルキャプスタン方式を導入。これは、ヘッドを中心に配置された2組のキャプスタンとピンチローラーでテープをはさみこみ、テープ走行を安定させる方式です。そのメリットは、①リールから伝わるテープ振動を断ち切り、ワウ・フラッター特性が向上②テープ振動のスパンが短かく区切れるのでモジュレーションノイズを可聴帯域外へ追放できる③2つのキャプスタン間のテープテンションを利用し、常に安定したヘッドタッチが得られる、など、きわめて高い走行精度を実現しています。



精度の高い回転特性が得られるクォーツロックダイレクトドライブ方式を採用。

キャプスタン駆動は、正確なテープ走行スピードを得るための要です。K555ESIIではモーターとキャプスタン間の複雑な伝達機構を排除。トルクむらの原因となるスロットをなくし、ブラシも取り去ったシンプルな構造のリニアBSL D.D.モーターの回転軸をそのままキャプスタンにしたダイレクトドライブ方式を



採用。さらに、クォーツロックでサーボすることにより、ワウ・フラッター0.025%をマークしています。

シンプル&ストレート思想を徹底した全段ツインモノによるDCアンプ構成。

よりクリアな音質を追求し、アンプ系はシンプル&ストレート思想を徹底。録音・再生アンプを全段L-Rツインモノにして相互干渉を断ち、信号の流れに沿ったコントラクションで前段・後段の干渉も極力抑えたDCアンプ構成を採用。また、アンプ部を1枚のOFC基板にまとめ、配線材の引き回しを大幅に削減。しかも、配線材にはLC-OFC線を使用するなど、ここにも音質重視設計を貫いています。



音像定位に優れたシンメトリプロセスドルビーIC。

ドルビーNR・B-C回路を構成するICに新開発のシンメトリプロセスドルビーICを使用。このICはアンプ回路も含め、Lch・Rchが対

称形に設計されているため、周辺パーツの配線パターンも左右対称となり、チャンネル間の特性差をきわめて少なくできることから音像の定位が一段と明確になります。

- TYPEI(NORMAL)、TYPEII(CrO₂)、TYPEIII(Fe-Cr)の3ポジションに±20%のバイアス可変ボリュームを装備
- テープ走行量を分秒単位(デジタル)で表示するリニア電子カウンター。テープ残量を直読できる減算機能つき
- 40~+8dBのワイドレンジをFL管で鮮明に表示するピークプログラムメーター。一瞬一瞬のピーク値と約2.4秒間のピークホールドを同時表示するダブルインジケーション方式も採用
- 多機能集中ディスプレイ
- ファインフェーザータッチオペレーション
- カウンター連動メモリーストップ/プレイ
- オートスペースつきRECMUTE
- MPXフィルタースイッチ
- 別売リモートコントロールユニットにより、ワイヤード/ワイヤレス/フットリモコンなど多彩なリモートコントロールが可能
- 別売タイマーによる連続留守録音/目覚まし再生が可能
- 別売RM-65の使用により、ソニーのプレーヤーとスタート/ストップのタイミングを合わせたシンクロプレイが可能
- 金メッキ処理の入出力ジャック
- 極性表示つき無酸素銅電源コード

ステレオ・カセットデッキ
TC-K555ESII ¥99,800 (新製品)

主な仕様 ●ヘッド:消去、録音1、再生1 ●モーター:リニアBSL D.D.モーター1、DCモーター1 ●SN比:※56dB、60dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、73dB(ドルビーNR・Cタイプ) ●周波数特性:※20~19,000Hz±3dB(METALカセット) ●周波数範囲:※15~20,000Hz(METALカセット) ●ワウ・フラッター:※±0.04%Wpeak、0.025%WRMS ●ひずみ率:※0.5% ●大きさ:430(幅)×105(高さ)×330(奥行)mm ●重さ:6.6kg ●印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。



■ CASSETTE DECK

TC-K777ES

音質最優先。この設計思想を一切の妥協を捨てて、あらゆる角度からアプローチ。
"ES"シリーズ・デッキのステイタスモデルK777ES。

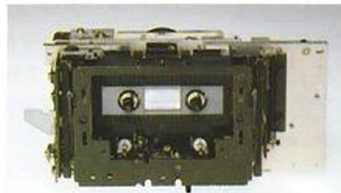
デッキの生命はあくまで音質。K777ESは、このテーマに沿って、現時点で成しうる音質優先のアプローチを集約。デジタルオーディオを真正面からとらえ、ひたすら純粋なサウンドを追求した"ES"シリーズの最高峰モデルです。

レーザーアモルファスヘッドによるソニー独自の独立懸架型3ヘッド方式。占有スペースはコンビネーションヘッドと同等で、録音用、再生用の両ヘッドに均一なヘッドタッチと高精度のアジマスが得られる独立懸架型3ヘッド方式を採用。しかも、ヘッドには、コア材にSN比に優れた磁気飽和しにくいアモルファス磁性合金を使用したレーザーアモルファスヘッドを搭載。これにより、3ヘッド方式のメリットをフルに生かし、デジタルオーディオ時代のリファレンス機にふさわしいワイドな周波数特性とダイナミックレンジを獲得しました。

きわめて精度の高いテープ走行を可能にするクォーツロックダイレクトドライブ方式。キャプスタン駆動には、モーターの回転軸をそのままキャプスタンとし、それをクォーツロックで回転速度をサーボするクォーツロックダイレクトドライブ方式を採用。さらに、モーターには音響機器用として高い基本性能を持つリニアBSLD.D.モーターを採用したことと相まって、ワウフラッター特性0.020%という素晴らしい数値を実現しました。

安定したテープ走行とヘッドタッチを実現するクロスドロープデュアルキャプスタン方式。

これは、ヘッドを中心に配置した2組のキャプスタンとピンチローラーでテープをはさみ込み、テープ走行を安定させる方式。メリットとして、①リールから伝わるテープ振動を断ち、ワウ・フラッター特性が向上②テープ振動のスペクトルを短かく区切るためモジュレーションノイズを可聴帯域外へ追放できる③2つのテープテンションを利用し、常に一定したヘッドタッチを実現、など。テープの走行安定性、テープとヘッドの密着性を高めています。



シンプル&ストレート思想に徹した全段DCツイン・モノ構成のアンプ部。ヘッドやテープ走行系の完成度を生かすため、アンプ系はシンプル&ストレート思想に徹した全段L・Rツインモノ構成とし、信号の流れに沿った回路レイアウトでまとめたDCアンプ構成としました。また、ヘッドと再生ア



ンプのダイレクトカップリングや信号変調要因を極力排除したデュアルFET差動2段SEPP回路、さらにセパレートレイアウトされた高能率変形トイダル・カットレスコア電源トランスなど、細部に至るまで音質優先設計を貫いています。

ヘッド、走行系、アンプ部を強固に支えるカップタイトシャーシ及び

振動分散メカニズム。

K777ESでは、デッキ本体を構成するシャーシ類まで音質重視を徹底。まず、基本シャーシにオーディオ回路に磁気ひずみを生じることを防ぐカップタイト(銅メッキ処理)を使用。さらに、ダイキャスト製のヘッド基台や振動を分散させるメカブロックでテープ走行系への振動を激減させました。

テープの特性をフルに発揮させるバイアス/録音レベルキャリブレーション。使用するテープによって、適正バイアス量は微妙に異なり、また、テープ感度によって録音時、再生時のレベルが微妙に変わります。



ステレオ・カセットデッキ

TC-K777ES ¥168,000

主な仕様 ●ヘッド: 消去1、録音1、再生1 ●モーター: リニアBSLD.D.モーター2 ●SN比: ※57dB、61dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、74dB(ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性: ※15-19,000Hz±3dB(METALカセット) ●周波数範囲: ※10-20,000Hz(METALカセット) ●ワウ・フラッター: ※±0.035%Wpeak、0.020%WRMS ●ひずみ率: ※0.3% ●大きさ: 430(幅)×105(高さ)×390(奥行)mm ●重量: 10.0kg ●消費電力: 39W
※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

K777ESでは、使用するテープごとに細かく調整ができる±20%のバイアスキャリブレーション、そして、ドルビーNRの効果を最大限に発揮させる録音レベルキャリブレーションを装備。さらに、レベルメーター部の表示が、調整モードに合わせて切替わり、専用ディスプレイとなります。

シンメトリプロセスドルビーIC。

ドルビーNR・B-C回路を構成するICには、左右チャンネル対称構造のシンメトリプロセスドルビーICを採用して、音像定位をさらに向上させました。また、ドルビーNRを使用しない場合は、NR回路はオーディオ回路から完全にパスさせることができます。

●多機能ワイドレンジ・ピークプログラムメーター ●テープ走行量を分秒単位(デジタル)で表示するリニア電子カウンター ●カウンター連動メモリーストップ/プレイ ●オートスペースつきREC MUTE ●ファインフェザータッチオペレーション ●別売タイマーによる連続留守録音/目覚まし再生 ●別売ユニットによる多目的リモコン ●別売RM-65によるソニーのプレーヤーとのシンクロプレイ ●固定出力と可変出力を装備。可変出力はインピーダンス変化の少ない5ステップのアッテネーター方式で、ヘッドホン出力と連動。



■PLAYER SYSTEM

PS-X555ES

音溝に刻まれた音楽情報のすべてをピックアップする。このプレーヤーの理想を、あらゆる角度から徹底的に追求したフルオートプレーヤーX555ES。

アナログプレーヤーの使命。それはいまでもなく、音溝に刻み込まれた音楽情報のすべてをピックアップすることにあります。そして、それを実際にカタチあるものとして実現するにはどのような手段、方法が適切か。この問いかけに対し、プレーヤーシステムの理想形をあらゆる角度からアプローチ。こうして誕生したのが電子制御アームリニアトラッキング・バイオトレーサーです。X555ESは、この優れたトラッキング能力を発揮するトーンアームに加え、安定した回転特性を実現する3段ブロック回転系を採用するなど、まさにプレーヤーシステムの理想の姿に限りなく近づけたフルオートプレーヤーです。トーンアームを電子的にコントロール。ソニー独自のバイオトレーサー。1000分の1秒に数百の論理判断を行なうマイクロコンピューターと、速度及び位置検出センサー、リニアモーターによってすべての動作を電子的にコントロールするトーンアームそれがバイオトレーサーです。このバ

イオトレーサーの採用により、どんなカートリッジを装着しても、低域共振ピークを3dB以内に抑えることができ、同時にストロークも改善されることから優れた低域再生を実現。さらに、聴感上のワウ・フラッター感が減り、音の立ち上がり、音像定位、ダイナミックレンジ、ひずみ感など、総合的な音質向上が確認できます。

トラッキングエラーを減らし、

音楽情報を正確にピックアップするリニアトラッキング方式。

カッティングマシンのカッターヘッドの軌跡と寸分たがわぬトレースを行えば、きわめて理想的な音楽再生が可能になる、これがピュア・ルーカス(軌跡)の考え方です。ところがこの方式にも問題がないわけではありません。その最大のものが、アームのつけ根をしっかりと固定できないことによるガタの発生です。ソニーのリニアトラッキングアームは、バイオトレーサーの開発で得たノウハウを基に、無共振化を徹底。トラッキングエラーの激減と合わせて、よりクリアな音楽再生を可能にしています。

きわめて精度の高い回転特性を実現する3段ブロック回転系。

プレーヤーシステムの性能の良し悪しを決定づけるのが回転系の精度です。ターンテーブルを静粛に、なめらかに回転させること。ソニーは、この大前提に対し、モーター技術、制御方式の開発において先進のテクノロジーを導入。その成果が、DCモーターからブラシもスロットも取り去り、トルクむらの

原因を根本的に断ったBSLモーター、ターンテーブルに高密度に着磁した検出信号をマルチギャップヘッドで平均検出し、微小な回転変化を素早くキャッチするマグネディスク速度検出、さらに、水晶の持つ高い発振精度を巧みに利用し、正確なサーボを行なうクォーツロックの3段ブロックに結実。きわめて安定した回転特性を獲得しています。

●サマリウムコバルトを使用した空芯8の字コイルによる、針交換可能なMCカートリッジ(XL-333E)を標準装備●レコード演奏中でもパネル上のボリュームコントローラーにより針圧調整のできる、バイオトレーサーならではの電子針圧印加方式。針圧値はデジタル表示●トーンアームの左右移動までボタン操作で行えるキューイング機構。左右5mm範囲内の移動はゆっくり動く設

計により正確な頭出しに便利●アームカレスト位置まで戻らずレコード盤の頭からすぐに演奏を再開するクイックリビート機構●17cmEP盤、30cmLP盤にかかわらず、自動的にサイズがセレクトされ、トーンアームが正確にリードインする光電子ディスクサイズセクター。レコード盤をセットしないでスタートボタンを押しても針先は降下せず、そのままターンする安定設計●針先が降りきるまでは出力をカットし、レコード盤と針先がタッチしたときのノイズをなくすミュート機構●強度と十分な内部損失を合わせたSBMC材をキャビネットに使用●高粘弾性物質封入の大型インシュレーター●別売RM-65使用により、ソニーのデッキとシンクロブレイクが可能。



クォーツロックD.D.フルオートプレーヤーシステム

PS-X555ES ¥70,000 (カートリッジ装備: XL-333E) 交換針: ND-333E (¥6,000)

主な仕様<ターンテーブル部> ●ターンテーブル: 32cmアルミダイキャスト●ワウ・フラッター: 0.015%WRMS (回転系) ●負荷特性: 0% (針圧100g) ●起動特性: 1/2回転以内 (33 1/3rpm時) ●SN比: 78dB (DIN-B) <トーンアーム部> ●トーンアーム: リニアトラッキングバイオトレーサー(電子制御トーンアーム) ●有効長(全長): 130mm (212.5mm) ●針圧調整範囲: 0.5~2.5g (電子式) ●シェル自重: 7.2g (SH-156・フィンガーなし) ●使用可能カートリッジ自重範囲(シェル自重含む): 10~15g、14.5~19.5g (補助ウェイト使用) <カートリッジ部> ●カートリッジ: MC (XL-333E) ●周波数特性: 10~35,000Hz ●出力電圧: 0.165mV (1kHz, 5cm/sec, 45°) ●針: 0.3×0.8mm 楕円ダイヤモンド ●自重: 3.5g (その他) ●大きさ: 430(幅)×105(高さ)×425(奥行)mm ●重量: 7.4kg ●付属品: 45回転アダプター、カートリッジ(XL-333E)、ヘッドシェル(SH-156)、補助ウェイト、カートリッジ取り付けビス



■ SPEAKER SYSTEM

APM-22ES

APMユニットとエンクロージャーが生み出す素晴らしい音場再現性。
音楽の表情をリアルに伝えるパーソナルサイズのAPMスピーカー。

まったくの静寂から突然フォルテシモまで達する圧倒的なダイナミズム。演奏者の指の動きまでも鮮やかに描き出す解像力の高さ。そんなデジタルソースの魅力を味わい尽くせるスピーカーとして誕生した、フラット&スクエア振動板を持つAPMスピーカー。APM-22ESは、そのAPMの血を受け継いだ最新鋭機。キャビネットには、音場の自然な広がり求めたアコースティカー・ラウンデッド・エンクロージャーを採用し、コンパクトなサイズながら、臨場感あふれる音楽再生を可能にしています。APMユニットとエンクロージャーが生み出す素晴らしいリアルで雰囲気のあるサウンドを満喫してください。

自然な音の広がり、臨場感を再現するアコースティカー・ラウンデッド・エンクロージャースピーカーから放射された音波がエンクロージャーの角で反射して起こる回折現象。これがスピーカーユニットからの直接音と干渉し合い、リスニングポジションによっては周波数特性に影響を与え、音像定位が悪化したり、音質劣化を招いたりするのです。この現象を排除し、無限大バツフルと同じ効果を獲得したのが、あのAPM-6MONITOR

やAPM-4のスーパーオーバルエンクロージャーでした。APM-22ESでは、この設計思想に基づき、4つのコーナーにR(アール)をもたせた、アコースティカー・ラウンデッド・エンクロージャーを採用。音の回折を減少させ自然な音の広がりを生み、臨場感豊かな音場再現性を獲得しています。さらに、フロントグリルは音響的な影響が少ない形状のものを採用。また、キャビネットも、ウォールナット調仕上げとブラック木目調仕上げの2タイプを用意しました。

デジタルソースを鳴らしきる条件をクリアするAPMスピーカー。

①音がこもらない平面型②音にクセがない四角形③音がぼやけない四点駆動④音が濁らない両面駆動——これらAPM方式だけが持つ特徴で、デジタルソースの素晴らしさをそのまま伝えるAPMスピーカー。APM-

22ESでは、現代の名器のひとつとして数えられるAPM-6MONITORで培った2ウェイのノウハウを生かし、音像が明解で、バランスの良い音楽再生を可能にしています。



●16cm²APM型ツイーター：振動板は、ウーファーと同様、アルミハニカムをアルミスキンでサンドイッチする構造。この軽くて丈夫な振動板を大型ボイスコイルにより、分割振動の節目が集中するポイントを駆動。可聴帯域内での分割振動をほぼ皆無にし、ビビッドで、輝きのある高域を再生します。

●290cm²APM型ウーファー：振動板はアルミスキンによってアルミハニカムコアをサンドイッチした構造です。このきわめて剛性の高い振動板を、ボイスコイルに直結した4本のアーマチュアによって4点駆動。分割振動を効果的にキャンセルし、ピストニックモーション帯域を大幅に拡大しています。また、強2ウェイスピーカーシステム

力な磁気回路の採用と相まって、楽器やボーカルの基音が集中する低域から中域での分解能の素晴らしさ、サイズからは想像もつかない量感を生みだしています。

別売スピーカースタンドWS 220 ¥15,000(2台1組)(新製品)



APM-22ES(B)ブラック

APM-22ES ¥39,000×2(2台1組) (J) ウッド・(B) ブラック(新製品)

主な仕様●形式：2ウェイ位相反転型●使用スピーカー：低音用290cm²APM型/高音用16cm²APM型●インピーダンス：6Ω●定格最大入力：60W●瞬間最大入力：120W●出力音圧レベル：90dB/W/m●実効周波数帯域：38-30,000Hz●クロスオーバー周波数：1.3kHz●大きさ：310(幅)×515(高さ)×316(奥行)mm●重量：15kg●付属品：スピーカーコード



■ SPEAKER SYSTEM

APM-55W

音楽のファンダメンタルを支える引きしまった低域と、ナチュラルな中域に、ひと味ちがう魅力がある。APMスピーカーの中核機。

音楽ファンの耳へ、いち早くデジタルの音を伝えたソニー。その素晴らしさを余すところなく表現するスピーカーを創り出す必要がある。ソニーがデジタルオーディオの研究に着手したさい、同時に強く心に期した構想です。こうして5年の歳月を投入、高剛性の四角いハニカム振動板をもつソニー独自のAPMスピーカーを完成させたのです。APM-55Wは、そのAPMスピーカーの中核機。デジタルを鳴らしきるための条件を、①音がこもらない平面型：従来のコーン型スピーカーは、紙をメガホン状に丸めた構造から空気共振現象=キャビティ効果を必然的に招いていました。これが音のこもりを生じさせていたのです。APMスピーカーは、振動板を平面とすることで、キャビティ効果の発生を断ち、周波数特性の乱れを追放。音のこもりをなくし、くっきりした音を再生します。②音にクセがない四角形：APMスピーカーの振動板は、航空機や新幹線のボデーにも使用されている、軽くて非常に丈夫なハニカムサンドイッチ構造。この六角形の蜂ノ巣状のハニカムコアを2枚のスキン材ではさみこんだ振動板は、曲げ剛性が従来のコーン型の500~1000

倍(当社比)、実際の使用状態でも変形の程度は $\frac{1}{10}$ ~ $\frac{1}{20}$ (当社比)におさまっています。このため、有害な分割振動の発生そのものがごく僅かです。しかも、丸形に比べ分割振動のパターンが単純な四角形を採用することにより、分割振動を効果的にキャンセル。音に余分なクセがありません。③音がばやけのない四点駆動：四角形の振動板では、分割振動の節目が固定位置に定まります。ここを選べば、特定モードの分割振動をなくすことができます。APMスピーカーのウーファーは、低次モードの分割振動の節目が集中するポイントを四点駆動。使用帯域内の分割振動を抑え込み、ピストニックモーション帯域を拡大したことで、ハッキリとした再生音になります。④音が濁らない両面駆動：APMウーファーでは、さらに振動板の前後のスキンを直接駆動するダイレクト・デュアル・サーフェイスドライブ方式を採用。このソニー独自の方式により、デジタルのダイナミックなサウンドを濁らせずに再生が可能。などのAPM方式だけいかもつ特徴でクリアしたデジタル・リファレンススピーカーです。構成は各ユニットの受持ち帯域に十分な余裕をもたせた3ウェイ。引きしま

た音像、緻密な分解能、伸び伸びしたスケール感を実現します。ことにデジタルソースを鳴らしたときの音楽の表現力は、特筆できる輝きがあります。ユニットひとつひとつの入念な仕上げ。ネットワーク基板を3つのユニットごとに独立させ、無酸素銅の内部配線材や音で選び抜いたコンデンサーを使用するなど、パーツひとつにまでも音質重視設計を徹底しています。



●424cm²APM型ウーファー：振動板は、アルミスキンによってアルミハニカムをサンド3ウェイスピーカーシステム(ウォールナットつき板仕上げ)

イッチした平面振動板。分割振動の低次モードの節目が集中する4点を駆動点に選び、ボイスコイルに直結したアーマチュアによってドライブしています。再生帯域内での分割振動を効果的にキャンセルし、ピストニックモーションを拡大。分解能に富み引きしまった低域を豊かに再生します。

●48cm²APM型ミッドレンジ：軽量で剛性の高く、しかも内部ロスが適度な強化レジンシートをスキン材として採用した平面振動板の、ミッドレンジです。また、大口径のエッジワイズボイスコイルと強力な磁気回路を採用。きわめてナチュラルで、豊かな中域を生みます。

●12cm²APM型ツイーター：チタン箔を採用したスキンによってアルミハニカムコアをサンドイッチした振動板と、エッジワイズボイスコイルを使用したAPM方式のツイーター。アタック感に優れ、音抜けが良く明るい高域を再生します。

APM-55W ¥108,000(1台) スピーカースタンドWS-500(2台1組) ¥8,500(別売)

主な仕様 ●形式：3ウェイ位相反転型 ●使用スピーカー：低音用424cm²APM型/中音用48cm²APM型/高音用12cm²APM型 ●インピーダンス：6Ω ●定格最大入力：100W ●瞬間最大入力：200W ●出力音圧レベル：91dB/W/m ●実効周波数帯域：31~30,000Hz ●クロスオーバー周波数：450Hz、4.5kHz ●大きさ：385(幅)×685(高さ)×330(奥行)mm ●重さ：27.5kg ●付属品：スピーカーコード

リファレンス機CDP-701ESの設計思想を継承。音質・機能・信頼性のすべてに高い完成度を求めた"CDP-501ES"。



CDP-501ESは、音質・機能の両面でリファレンスに位置づけられる高級機CDP-701ESのエッセンスを可能な限り受け継ぎ、音質重視の姿勢を徹底。その再生音の素晴らしさで、快適な操作性で、ベストセラーを続けている"ES"シリーズのメインモデル。また、ワイヤレスリモコンを標準装備し、機能性も充実させています。コンパクトディスクプレーヤー

CDP-501ES ¥168,000 (リモコンユニット FM-III付属)

主な仕様 ● 型式:コンパクト・ディスク・デジタルオーディオシステム ● 読取り方式:非接触光学読取り(半導体レーザー使用) ● 回転数:約500~200rpm (CLV) ● 演奏速度:1.2m/s~1.4m/s(一定) ● エラー訂正方式:ソニースーパーシステム(クロスインターリーブ・リードソロモンコード) ● 復号化:16ビット直線 ● 周波数特性:5Hz~20,000Hz±0.5dB ● 高調波ひずみ率:0.003%以下(1kHz) ● ダイナミックレンジ:95dB以上 ● ワウ・フラッター:測定限界以下 ● 大きさ:430(幅)×105(高さ)×325(奥行)mm ● 重さ:8.1kg ● 消費電力:25W

本格的なFM多局化、高音質化に対応し、性能・音質・操作性を磨き抜いた"ES"シリーズのFM専用チューナー。



ノイズやビートの発生を激減する「ダイレクトコンパレータ」の採用、さらに、最新アンプ技術の成果「オーディオ・カレントトランスファ」を導入し、オーディオ回路も強化。加えて、2系統のアンテナ端子を装備するなど、FM放送の高音質化、多局化を迎えつつ性能・音質を追求したFM専用シンセサイザーチューナーです。クォーツロック・デジタルシンセサイザーチューナー

ST-S555ES ¥65,000

主な仕様 ● 実用感度:0.9μV (HF)、10.3dB (新HF) ● ステレオひずみ率:0.04% (WIDE) ● 実効歪み率:60dB (400kHz WIDE)、90dB (400kHz NARROW) ● スプリアス妨害比:120dB ● SN比:86dB (ステレオ)、92dB (モノ) ● セパレーション:60dB (1kHz) ● 大きさ:430(幅)×80(高さ)×340(奥行)mm ● 重さ:4.8kg ● 消費電力:23W ● 局名表示ラベル付属

緻密な音の分解能と雄大なスケール感が「見事に融け合う、APMスピーカー。デジタル・リファレンスの高級モデル。



デジタルソースの持つ膨大な情報量と広大なダイナミックレンジをそのままの純度で表現する。APM-77Wは、この目標のもとにソニー先鋭のスピーカー技術を投入。さらに、重量級キャビネット、素材・構成の両面から吟味したネットワークなど、音質のために細部まで厳しく検討。緻密な分解能と大型システムならではの雄大なスケール感を鮮やかに両立させています。

3ウェイスピーカーシステム(ワールナットつき板仕上げ) APM-77W ¥160,000(1台) スピーカースタンドWS-500(2台1組) ¥8,500(別売)

主な仕様 ● 形式:3ウェイ位相反転型 ● 使用スピーカー:低音用530cm²APM型/中音用27cm²APM型/高音用7cm²APM型 ● インピーダンス:6Ω ● 定格最大入力:100W ● 瞬間最大入力:200W ● 出力音圧レベル:90dB/W/m ● 実効周波数帯域:28~30,000Hz ● クロスオーバー周波数:700Hz、4.5kHz ● 大きさ:405(幅)×745(高さ)×325(奥行)mm ● 重さ:32.0kg ● 付属品:スピーカーコード

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。 ● カタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。 ● ドルビーとDOLBYマークは、ドルビー研究所の登録商標です。 ● あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは、個人として楽しむなどの場合は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● これらの商品には保証書がついています。お求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとってください。

● ステレオおよびテープレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後ステレオは8年、テープレコーダーは6年です。

ソニー株式会社
ショールーム
お客様ご相談センター

〒141 東京都品川区北品川6-7-35
東京/銀座数寄屋橋ソニービル
大阪/南区心斎橋筋ソニータワー
東京/(03)448-3311
大阪/(06)251-5111
名古屋/(052)232-2611

ソニー商品販売店

このカタログの内容について、詳しくお知りになりたい方は、お近くのソニー商品販売店におたずねになるか、当社のお客様ご相談センターにお問合せください。
1984年10月印刷 AEW5Y-1 Printed in Japan(84990142)

コンパクトディスクを知り抜いたソニーだから、ここまで出来た。メカトロニクスの粋を集めて誕生したリファレンス機。



コンパクトディスクの潜在的な能力をすべて生かす。この目標をプロ用CDプレーヤーの開発で得た技術成果をふんだんに投入し完成させたのがCDP-701ES。その再生の素晴らしさから、コンパクトディスクに取られた曲のワンフレーズまで取り出せる多彩な機能も、リファレンス機にふさわしいものです。コンパクトディスクプレーヤー

CDP-701ES ¥260,000

主な仕様 ● 型式:コンパクト・ディスク・デジタルオーディオシステム ● 読取り方式:非接触光学読取り(半導体レーザー使用) ● 回転数:約500~200rpm (CLV) ● 演奏速度:1.2m/s~1.4m/s(一定) ● エラー訂正方式:ソニースーパーシステム(クロスインターリーブ・リードソロモンコード) ● 復号化:16ビット直線 ● 周波数特性:5Hz~20,000Hz±0.5dB ● 高調波ひずみ率:0.003%以下(1kHz) ● ダイナミックレンジ:95dB以上 ● ワウ・フラッター:測定限界以下 ● 大きさ:430(幅)×105(高さ)×325(奥行)mm ● 重さ:8.1kg ● 消費電力:25W

小型・軽量・3電源方式。手軽に、リアリティ豊かなデジタルライブ録音を楽しめるポータブルなPCMプロセッサー。



PCM-F1の最大の長特は、小型・軽量。さらに、3電源方式採用により、同じポータブルサイズのベータマックスB5などと組めば、屋外でのライブ録音に高い機動性を発揮するのをはじめ、室内では、FMエアチェックにと、インドア・アウトドアを問わずオールマイティに活躍するPCMプロセッサーです。

PCMデジタルオーディオプロセッサー PCM-F1 ¥250,000 (ACアダプター、キャリングベルト付属)

主な仕様 ● 標準化周波数:44.056kHz ● 量子化ビット数:16ビット/14ビット直線量子化 ● 周波数特性:10~20,000Hz±0.5dB ● 高調波ひずみ率:0.005%以下(16ビット)、0.007%以下(14ビット) ● ダイナミックレンジ:90dB以上(16ビット)、86dB以上(14ビット) ● ワウ・フラッター:測定限界以下 ● 大きさ:215(幅)×80(高さ)×305(奥行)mm ● 重さ:4.0kg

3モーター・独立3ヘッド、徹底した防振設計など、カセットデッキの新たな到達点を示す"ES"シリーズの中核機。



レーザーアモルファスヘッドを搭載した独立3ヘッド方式、クロズドループ・デュアルキャブスタンなど、"ES"シリーズ・デッキの共通項を守りながら、さらに3モーター構成とし、より精度の高い録音/再生を追求。また、機構・材質・構造すべての面から防振対策を徹底するなど、あらゆる面から音質を磨き上げています。ステレオ・カセットデッキ

TC-K666ES ¥120,000

主な仕様 ● ヘッド:消去、録音、再生1 ● モーター:リニアBSLモーター3 ● SN比:※56dB、60dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、73dB(ドルビーNR-Cタイプ) ● 周波数特性:※25~19,000Hz±3dB(METALカセット) ● 周波数範囲:※20~20,000Hz(METALカセット) ● ワウ・フラッター:※±0.04%Wpeak、0.025%WRMS ● ひずみ率:※0.5% ● 大きさ:430(幅)×105(高さ)×285(奥行)mm ● 重さ:6.5kg ● 消費電力:38W ● ※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

2ウェイの良さを生かしたAPMスピーカー。解像力の高さはもちろん、サイズからは想像もできない低域の量感を生みだします。



デジタルソースの魅力とパーソナルサイズのスピーカーで味わい尽くせたら、この要望に応じて誕生したAPM-33W。構成は、ウーファー、トゥーイーターともAPMユニットを採用した2ウェイ。あのAPM-6MONITORで培ったノウハウを積極的に生かした設計を行っています。その音場再現性の素晴らしさ、解像力の高さと、デジタルソースに秘められた情報量をフルに引き出します。

2ウェイスピーカーシステム APM-33W ¥55,000(1台) スピーカースタンドWS-300(2台1組) ¥6,000(別売)

主な仕様 ● 形式:2ウェイ位相反転型 ● 使用スピーカー:低音用324cm²APM型/高音用16cm²APM型 ● インピーダンス:6Ω ● 定格最大入力:80W ● 瞬間最大入力:160W ● 出力音圧レベル:91dB/W/m ● 実効周波数帯域:39~20,000Hz ● クロスオーバー周波数:2.2kHz ● 大きさ:315(幅)×540(高さ)×320(奥行)mm ● 重さ:14.4kg ● 付属品:スピーカーコード

'84.10

カタログの記載内容:1984年10月現在

